新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）に係る事業実施結果報告（令和7年度）

資料５－１

交付対象事業の名称	市民活躍都市「いとしま」実現事業
事業期間	令和7年度～令和9年度
令和7年度交付金対象事業費　総額	5,928,810円

【1.文化芸術推進基本計画策定事業：文化課】

関連するKPI　①、②、③

事業概要

（事業目的）
文化芸術に触れる機会の創出するなどの短期的な取組だけではなく、「文化・芸術を身近に感じるまち」を実現に向けて、本市の文化芸術振興の目指すべき姿や方向性を整理を行い、長期的かつ戦略的な取組を実施するための基本計画を策定することを目的とする。

（事業内容）
2024年度に実施した市民ニーズ把握の基礎調査を踏まえて、専門的な調査研究や分析を行い、有識者や文化関係者、公募市民による審議会等を行い、「糸島市文化芸術推進基本計画」を策定するもの。

事業実績

糸島市文化芸術推進基本計画策定業務を九州大学に委託して実施し、市役所の関係課による庁内連携会議を4回、外部アドバイザーによるヒアリングを4回、パブリックコメントや全庁への確認を経て計画案を作成してきた。
パブリックコメントは、8人・計26件の意見をいただき、必要な部分は計画案に反映し、令和8年2月18日の糸島市教育委員会で、「糸島市文化芸術推進基本計画」を策定した。
計画の将来像として「文化でつながり、文化を生きる いとしま」を掲げ、5つの基本目標、9つの施策を盛り込み、計画期間は、令和8年度（2026年度）から12年度（2030年度）までの5年間とする。

事業の評価

（成果）
文化芸術基本法第7条の2に規定する「地方文化芸術推進基本計画」として、「糸島市文化芸術推進基本計画」を策定することができた。

（課題）
計画全体及び基本目標ごとに設定した評価指標の実現に向けた効果的な事業の実施。
計画策定後の推進体制として、「糸島市文化芸術推進ミーティング」を設置し、アドバイザーや関係課職員からの助言を適宜、事業等に反映していく。

実績値を踏まえた事業の今後について

本事業で策定した「糸島市文化芸術推進基本計画」をもとに、今後5年間の文化芸術の推進を図っていく。

【2.歴史的絵画等展示事業：文化課】

関連するKPI　①、②、③

事業概要

（事業目的）
絵画等の芸術作品は、経年劣化によりその価値を著しく減じるため、作品の維持には一定の費用が発生する。近代から近世にかけて活躍した松永冠山や藤瀬冠邨といった本市出身の著名な作家の作品については、歴史的絵画として寄贈を受け付け、伊都国歴史博物館において保管しているが現状ではただ維持するだけであり、市民の目に触れさせることができていない。そこで、最低限の補修を加え、展示可能な状態に修復して公開することで、市民が文化・芸術に親しむ機会を創出することや価値ある絵画を市の財産として後世に伝えることを目的とする。

（事業内容）
経年劣化（欠損、折れ、汚れ）が進む絵画（掛け軸）の一部を展示が可能な状態に修復を行うもの。

事業実績

収蔵品の中から、計14点の松永冠山の作品を選別し、美術表装の専門業者へ修復を委託した。

事業の評価

（成果）
計14点の掛け軸の修復を行い、垂下が可能な状態となるとともに画面のクリーニング等も行ったため、作品の本来の素晴らしさを実感できるものとなった。

（課題）
令和9年度に実施する展示会において公開する予定であるが、展示室の温湿度管理について対策を講じる必要がある。

実績値を踏まえた事業の今後について

令和8年度においては、藤瀬冠邨の作品について同様の修復を行い、令和9年度に一般公開を計画している。
市民の方々が、郷土出身の画家の作品を身近に鑑賞できる機会を創出するものとしたい。

【3.読書習慣形成・定着支援事業：生涯学習課】

関連するKPI	①、②、⑤

事業概要

（事業目的）
図書館の電子書籍サービスについては、中学・高校生向けや30～50 代向けの電子書籍を定期的に購入をしている。また、学校では1人1台タブレットの効果的な活用として、2022年度に中学1年生を対象に図書館の電子書籍を利用するためのIDを付与した。しかし、電子書籍は1人に貸し出すと他の人が閲覧することができない課題がある。いまだ紙の本を好む生徒が多いが、デジタル時代を生きる小中学生に対して、電子書籍の選択肢を増やすことにより、学校における読書を支援することで、不読率の抑制（読書離れの防止）を目的とする。

（事業内容）
小中学生全員に図書館の電子書籍を利用できるようIDの付与を行い、学校の授業や朝読等で一斉に電子書籍を読む環境を整えるため、同時に複数人が読むことができる児童書読み放題パックを導入するもの。

事業実績

市内小中学校全員及び教職員に糸島市立図書館電子書籍サービスが利用できるようID付与を行い、学校の授業や朝読等の読書時間で活用されている。
利用実績は、1人1冊の貸出可能な電子書籍は、小学校が月平均400人程度、中学校が月平均40人程度の利用、読み放題の電子書籍は、小学校が月平均1,000人程度、中学校が月平均75人程度の利用となっている。

事業の評価

（成果）
令和7年度で導入した「読み放題パック」は同時に複数人が同じ電子書籍を読むことができるため、読みたい本をいつでも読むことが可能であることから、多くの児童・生徒が閲覧をしたことにより、目標値を大きく上回る実績となった。

（課題）
継続して利用してもらえるよう、小中学生が好む電子書籍の数と種類の充実を図ると同時に、ポスターやチラシ配布などで周知していく必要がある。

実績値を踏まえた事業の今後について

事業を継続し、より多くの児童・生徒さらにはその保護者へ利用が拡大するよう、周知を図っていく。

【4.曽根グラウンド再整備事業：生涯学習課】

関連するKPI	①、②、④

事業概要

（事業目的）
2024年度に解体する曽根体育館の跡地活用を含めて、隣接する曽根運動場と併せた一体的な人工芝グラウンドの再整備を行うことで、安全で整った環境でスポーツを行うことができるようになる。糸島市運動公園と併せたスポーツ振興を進めていくことで、将来を担う青少年の健全育成及び競技技術の向上に加えて、年代や障がいの有無などに関わらず、市民の健康増進やスポーツ振興に寄与する相乗効果が期待される。

（事業内容）
施設の供用開始から多くの市民に利用され、親しまれるグラウンドの整備を目指し、他自治体での整備事例等に係る調査・研究を行うとともに、利用が想定されるスポーツ関係団体等の意見を聴取する。 また、調査・研究の結果や聴取した意見等を参考としながら、グラウンドフェンスの設置、グラウンドへの芝生設置、駐車場の整備に係る実施設計を市職員により実施する。

事業実績

令和7年度は、調査・研究の結果や聴取した意見を参考としながら、グラウンドフェンスの設置、駐車場の整備等に係る実施設計を市職員により実施した。

事業の評価

（成果）
令和8年度及び9年度に予定している整備工事にかかる設計図書等を作成した。

（課題）
多目的に利用できるグラウンドを整備するが、利用者ニーズと実際に利用できる競技種目の調整が必要である。

実績値を踏まえた事業の今後について

利用者の意見をできる限り反映し、令和8年度及び9年度に整備工事を行い、本市のスポーツ振興及び将来を担う青少年の健全育成及び競技技術向上に寄与していく。

市民活躍都市「いとしま」実現事業

本事業における重要業績評価指標（KPI）	担当課	事業開始前（R6年度）	1年目（R7年度）		2年目（R8年度）		3年目（R9年度）		4年目（R10年度）		単位	達成度
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
①転出入者数（転入者数－転出者数）	企画秘書課	976	986	695	996		1,006		1,016		人	未達成
②文化や芸術、スポーツに親しむことができる環境が身近にあると感じる市民の割合（「そう思う」＋「ややそう思う」）	文化課	32.5	34.0	未計測	35.5		37.0		38.5		%	未達成
③市主催の文化振興事業年間参加者数	文化課	2,572	2,577	2,250	2,582		2,587		2,592		人	未達成
④曽根グラウンド年間利用者数	生涯学習課	0	0	21,655	0		0		35,000		人	達成
⑤電子書籍利用者年間延べ人数	生涯学習課	3,158	4,558	23,099	4,658		4,758		4,858		人	達成

事業の評価	有効であった

今後の方針	継続